

【問題】

患者：63歳，女性。

主訴：特になし。

既往歴：特になし。

家族歴：特記事項なし。

現病歴：2009年4月，検診の腹部超音波検査にて肝S4に20mm大の腫瘍を指摘され，精査目的にて紹介された。

身体所見：身長145cm，体重48.5kg，意識清明，体表のLN腫大なし，血圧138/74mmHg，脈拍72回/分，体温36.6℃，腹部は軟で圧痛なし。

入院時血液検査：AST 17IU/L，ALT 12IU/L， γ -GTP 36IU/L，T-bil 0.9mg/dL，AFP < 5ng/mL，

PIVKA-II 18mAU/mL，CEA 1.4ng/mL，CA19-9 8U/mL，HBs抗原(-)，HCV抗体(-)。

腹部CT，腹部MRI，腹部超音波画像を示す (Figure 1, 2, 3)。

1. 追加で行うとしたら，どのような検査？
2. 診断と治療方針は？

解答は日本消化器病学会雑誌107巻2号をご覧ください

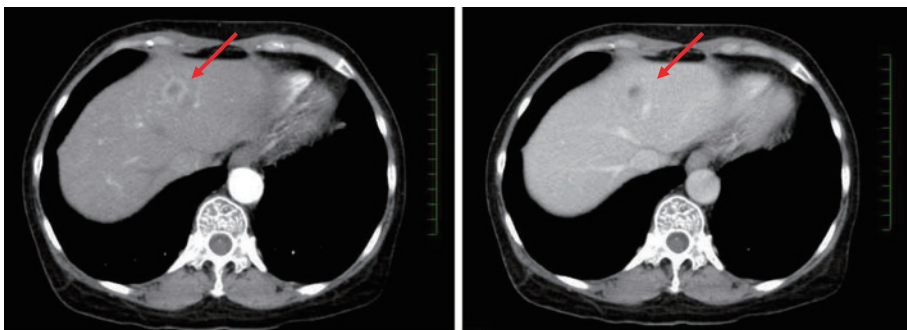


Figure 1. Dynamic CT.

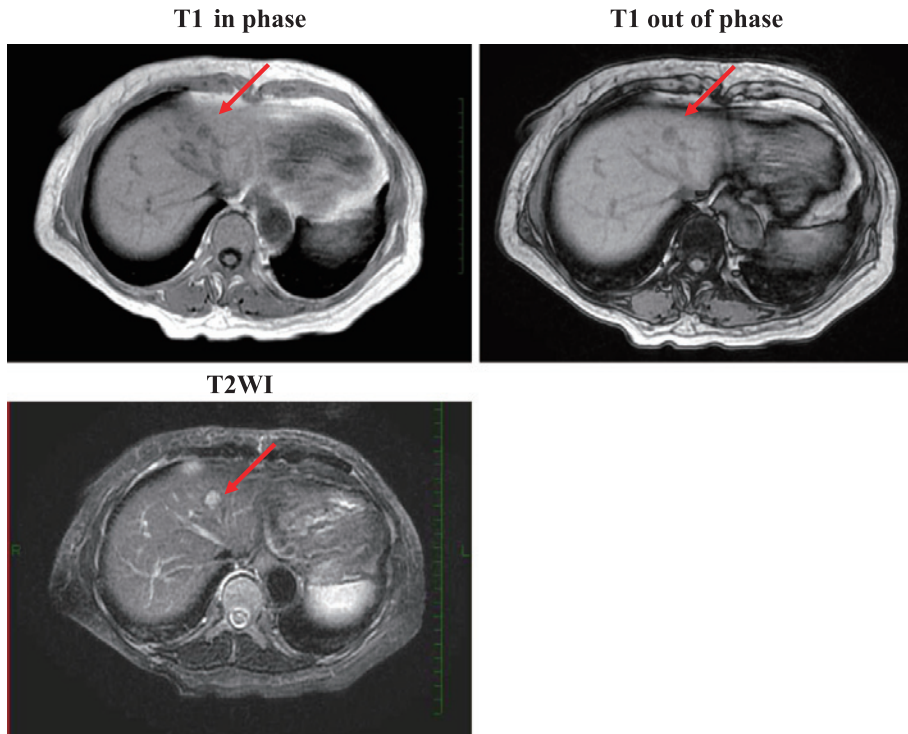


Figure 2. 腹部 MRI.

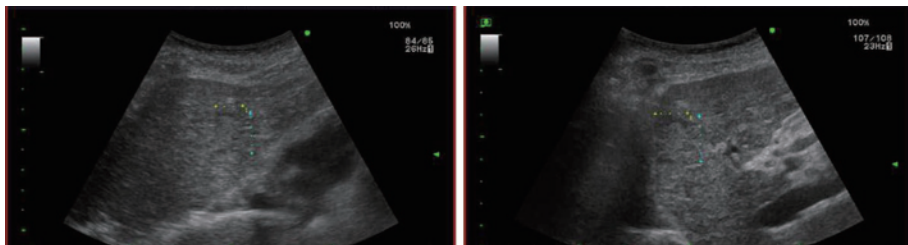


Figure 3. 腹部超音波画像.